

“ふるさとちば”のための政策推進を



鈴木まもる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

モンスターペアレント実態調査へ

県民の連携で豊かな社会づくり

特別支援学校の教員増加を

2月県議会予算委員会で質疑



予算委員会で質疑を交わす鈴木まもる県議

「甦る千葉、新しい市川の誕生」を掲げて昨年4月の県議選で、宿願の初当選を果たした市川市の鈴木衛(すずき・まもる)県議は、2月県議会の予算委員会で質疑に立ち、さまざまな障害を持つ子どもたちの自立を図るための特別支援学校のあり方などを積極的に取り上げました。鈴木県議の予算委員会での質疑を1、2面で特集します。

鈴木委員 文部科学省の調査研究協力者会議の「今後の特別支援教育のあり方について」で、教育的支援を行うための総合的な体制を早急に整備することが必要とされた多様なニーズに適切に対応するための個別の教育支援計画が求められているが、県の現状はどうか。

うか。

教育長 国の障害者施策における「個別の支援計画」策定の趣旨を踏まえ、平成十七年度からすべて特別支援学校の個別の教育支援計画が求められているが、県の現状はどうか。

教職員課長 学校の状況により、県教委と市町村教委で協議しながら、できる範囲で対応しているところ

要望 モンスターペアレントに関する問題は、十分に精査していかないと、教育が荒廃してしまう。十分調査して対応してもらいたい。

特別支援学校の教員の人事交流が少なく、活発に行ってほしい。

鈴木委員 いわゆるモンスターペアレントの具体的な事例に対して、どのような対応が求められるのか。教職員課長、現在、学校に対する要望が多様化、複雑化している中で、時として学校に

体的な事例に対し、どのように現状を把握しているのか。教職員課長 現在、学校に対する要望が多様化、複雑化している中で、時として学校に

鈴木まもる県議プロフィール

- 略 歴 ■
- 昭和26年 市川市若宮生まれ
- 私立市川高校卒業
- 専修大学文学部中退
- 市川市議会議員当選(4期)
- 市川市議会議長
- 自民党市川支部副部長
- 現 職 ■
- 平成19年千葉県議会議員当選
- 県議会商工労働企業常任委員会委員
- 同 予算委員会委員
- 千葉県競馬組合議会議員
- 同 水道事業運営審議会委員
- 市川交通安全協会会長
- 市川市サッカー協会会長
- 市川市少年野球リーグ会長
- 市川商工会議所顧問
- 市川市観光協会理事
- 市川食品衛生協会顧問

都市づくり、地域づくりのご意見、ご提言をお寄せください。

鈴木まもる 県議事務所 〒272-0021 市川市八幡3-29-20 秋葉ビル3F
TEL047-333-6000 FAX047-322-3232

鈴木まもるホームページ http://www.suzukimamoru.com

専門コーディネーターを養成

2月県議会 予算委員会 ~特別支援学校充実に向けて

研修・指導で専門性アップ

鈴木委員 特別支援教育の予算づくりに当たって、県民の声はどのように生かされているのか。

特別支援教育課長 県民からは①特別支援学校の過密化対策に早急に取り組んで

ほしい②校内で多様なボランティアを活用してほしい③小・中学校に対し特別支援学校から専門的な指導や支援をしてほしい④高校における発達障害のある生徒に対する理解とケアについ

て取り組んでほしいーなどの意見が寄せられました。これらを踏まえて、基本計画を策定し、特別支援学校の分校や分教室整備、社会人のボランティア養成や派遣、センター的機能充実

のための教員の全校配置、高校の特別支援教育コーディネーター養成研修などを平成二十年度に計画しているところだ。

中心的な役割を担っていることから、専門性の向上を図ることが課題になっています。このため、養成研修や巡回指導などで指導と助言を行っているところです。

鈴木委員 学校内や外部の関係機関との連絡調整等で、中心的役割を果たす特別支援コーディネーターを配置することになっているが、県の現状と課題は何か。

特別支援教育課長 特別支援教育コーディネーターは現在、すべての小・中学校で指名されており、校内での

また、高校ではコーディネーターの指名が進んでいないため、二十年度にすべての学校で指名し、養成研修を実施する予定です。さらに、他県と連携し、コーディネーターの定数措置を国へ要望しているところだ。



予算委員会で発言を求める鈴木まもる県議

作業学習に必要な予算確保

鈴木委員 自立指導のための備品が不足していると聞くが、教材・教具の充実はどのように図っていくのか。

特別支援教育課長 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持、上肢・下肢の動きに必要な教材・教具の備品を計画的に購入していきます。また、一人ひとりの障害の状態に応じて、教員が自作教材を作成するなど工夫を行っているところで

鈴木委員 高等部卒業後の社会自立に向けた具体策および作業棟などの整備状況と予算はどうなっているのか。

財務施設課長 高等部生徒の社会自立に向けた取り組みとして、作業学習が重要であり、作業学習に必要な木工、手芸、染色等の作業室については、すべて学校に整備されています。園芸

要望 校舎の老朽化、特にトイレ設備等が不足していると聞いているが、これに対する予算措置を確保してもらいたい。また、スクールバスの席数が足りないという点も、対策を採ってほしい。



県議会議場で行われた予算委員会(質疑者席は鈴木まもる県議)

生活から暮らしの質を高める 鈴木まもるの県議

2月県議会自民党代表質問

財源不足の当初予算を追及

2月定例県議会で最大会派自民党の代表質問に岡村泰明県議(四街道市選出・4期目)が登壇しました。

岡村県議は、財政問題、私学助成、医療の充実などを中心に話し、うち、乳幼児医療では、自民党が要望を続けてきた就学前までの通院助成は実現しましたが、なおの充実を求めました。

予算案については、「3年連続で多額の財源不足が続く当初予算は異常な事態」として知事を追及し、真の県民本位の予算のために、今後も厳しく監視を続けるつもりです。

また、知事の政治姿勢では、空港戦略、道路特定財源をめぐる見解、知事のマニフェストについて質しました。